

## 審議会会議録

会議名称	令和4年度第1回大滝区地域協議会		
議 題	報告第1号 令和4年度予算について（大滝区関係分） 報告第2号 国鉄胆振線代替バスの路線見直しについて 議案第1号 令和4年度大滝区振興基金対象事業計画について		
開催日時	令和4年5月20日（金） 午後3時00分～午後4時00分		
場 所	伊達市大滝総合支所 1階 防災多目的ホール		
出席者	出席者9名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p><b>1. 開会</b>  地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告</p> <p><b>2. 市長あいさつ</b>  コロナ禍で観光が厳しい状況からようやく少しずつ動いてきているところに美筋の通行止めでもた止まっている現状であります。北湯沢地区で旧北湯沢小学校跡地利用を検討している。土砂災害規制の関係でグラウンドの片方が3m土盛り、もう片方は現状のままという同じ敷地でこんな話は無いと思うので、内容を整理して小学校校舎解体もあわせ、住宅と老朽化している湯のさと館の移転を考えている。この協議会は合併を機に大滝のみなさまの声を反映していくという趣旨でありますので、引き続きご理解ご協力、そしてご意見を今後ともよろしく願いいたします。</p> <p><b>3. 会長・副会長選出</b>  市長が仮議長となり会長・副会長の選出を行う。  選出方法については、指名推薦の方法で選出との意見があり、会長には「宇佐美雅昭氏」、副会長には「中川 学氏」を推薦する意見があったことから決定する。</p> <p><b>4. 会長あいさつ</b>  7月から光回線が始まるということで地域にとって喜ばしいことと思っております。また、3月にはデマンド交通アンケートを市の方で実施しており、その結果が今回の議案にも上がっていますが回答率が低い。交通に関する関心があまりないのかなと感じておりますが、皆様のご意見を是非市の方にお伝えしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p><b>5. 署名人の選任</b>  審議に先立ち、会議録署名人に今井委員、天野委員を指名</p>			

## 6. 議題

報告第1号 令和4年度予算について（大滝区関係分）  
事務局より説明（別紙資料のとおり）

### ○質疑応答

会 長：質問、意見等はありませんか。  
委員全員：〈なし〉

報告第2号 国鉄胆振線代替バスの路線見直しについて  
事務局より説明（別紙資料のとおり）

### ○質疑応答

委 員：配布数の611世帯とは施設利用者も含むか。  
事 務 局：2／1時点の住民登録の方を対象。施設利用者も含む。  
委 員：デマンド交通はいつから始めるのか。  
市 長：アンケート結果を踏まえて決める。経過はS61年胆振線廃止により関係自治体へお金が配られ、基金に積み、バス車両更新や利用料を負担してきたが、基金がなくなる自治体も出てきたため、負担の大きい倶知安伊達間について協議をしてきた。それで今回の提案ということになっている。デマンド交通について、大滝で運転手がいればもう少し利便性も高くなると考えている。  
委 員：愛地地区は何世帯くらいか。愛地の方から意見は出てきているのか。  
事 務 局：約10世帯。愛地地区からは特に意見は出ていない。  
委 員：子供が中学生で部活の送り迎えができない時にバスを利用している。もう少し丁寧に説明してもらいたい。デマンド交通がよくわからない。市長が言われた大滝で人がいないというのは広報か何かで募集したのか。それでもいないのであれば地域おこし協力隊などを利用するとか、利便性がよくなるよう考えていただきたい。  
事 務 局：地域の方が運行する自家用有償旅客運送という制度がある。条件は事業者が運行していない区域で、地域の方が必要性を感じてどうしてもないと困るといふ声があがってという流れです。アンケート結果は必要性が低い数値になっている。  
委 員：NPOをバックアップしてもらえれば大滝ならやれると思う。空白地域の問題は各地域で問題になっていて、もっと簡単にできる仕組みになればと思います。  
市 長：以前に比べると自由度は高まっている。地元の人がやるのであればいける仕組みにはなりつつある。  
委 員：個人的にはやってみたい。やるとしたら地域で他にもやりそうな人はいる。ぜひ前向きに考えていただきたい。  
市 長：地元でやる人がいるかがポイント。バスはコストがかかりすぎるので最終的にはそのサービスが主になってもいい。  
委 員：大滝の中は社協でもやっているが対象は高齢者のみか。  
事 務 局：65歳以上。  
委 員：喜茂別でも地域バスがある。学生も利用している。お金払えば誰でも乗れる。  
委 員：何人かいればウーバーイーツのような仕組みで結構うまくいくのではないか。  
市 長：バスについては現状維持して、1、2年かけて整理していきたい。まずは廃止の影響を受ける地域からやってみようという感じでいけば広がっていいのではないか。  
地元でやっていただけるのであればコストが相当下がる。

委員：デマンド交通アンケートの料金は往復の金額ですか。サービスは往復か。  
事務局：片道の金額。サービスは往復可能。  
委員：廃止する区間は。  
事務局：廃止となるのは伊達から倶知安、残るのは伊達から本町東団地。

議案第1号 令和4年度大滝区振興基金対象事業計画について  
事務局より説明（別紙資料のとおり）

## ○質疑応答

委員：光回線がきたらケーブルテレビのネットはすぐ使えなくなるのか。  
事務局：ケーブルテレビのインターネットも利用は可能です。光回線に切り替えてケーブルテレビのインターネットが不要な場合は、市にモデムの返却と変更手続きが必要です。  
委員：加入者150世帯という公営住宅や個人住宅を含めてか。  
事務局：現在のD契約相当の件数です。  
委員：ソフトバンクエアーなどを利用している人の移行なども考えられるが、足りるますか。  
事務局：コラボ事業者だとキャンペーンなど無料でやっているところもあるので、実際には150件以上対応可能と考えている。6/11、12に事業者に集まってもらって相談会を実施します。  
委員：敬老会関係、実際弁当を配っていますが、経費はどのくらいか。それと施設を対象に外した理由。  
事務局：150世帯で約27万円。施設はコロナの関係もあり対象外とした。

## 7. その他

事務局：事務局より2点情報提供。行政に対する要望等を把握するため、5/24から1週間程度、支所職員による大滝区内戸別訪問を行います。今年度はデマンド交通をメインに聞取りし課題要望などを把握したい。  
2点目は新方式でのテレビ視聴に関することです。光回線を利用した地上波テレビの視聴ができないかこれまでNTT等と検討を進めてきたが、技術的に可能であるとの結論が出たので、令和6年度から新方式での視聴ができるのではないかと進めている。今後議会対応、パブリックコメント、住民説明会などを予定しております。  
委員：中学校の休日の部活の関係、伊達地区ではバスが出ている。大滝では伊達まちポイントを使っていて、再来年度に切れてしまう。切れたときに完全に自己負担になる。基金など検討いただければと思っています。  
事務局：コロナ禍で学校の収益事業ができなくなり始まった事業。依然としてコロナ禍にあるので検討します。  
委員：美笛の通行止めいつまでか。  
市長：我々にも説明がない。開発局へ問合せをしている。今のところ目途が立っていない。事業者への影響が大きい。  
委員：風力発電の関係、観光を考えると変なところに建てないでほしい。  
市長：伊達市としては中立的な姿勢。良いとか悪いとかは言えない。要件整えば許可される。反対の場合は住民運動で何とかするしかない。

## ○閉会